

保護者様

八幡浜市立川上小学校長 玉岡 真史

## 第2学期学校評価アンケート結果の考察

2学期の学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケート結果を基に、課題と今後の対策等について職員会議及び学校運営協議会において話し合いを行いました。今後もよりよい学校づくりに努めてまいります。内容をご確認いただき、引き続きご協力よろしくお願いたします。

### 1 児童アンケートより

- ・1学期評価と比較すると、家庭学習の時間に費やす時間にやや改善がみられている。しかし、家庭での読書時間がやや減少している。1学期のアンケート結果と同様に、読書時間が少なく、ゲームやインターネットに費やす時間が多いことが課題である。
- ・1学期同様、あいさつができていますと回答した児童は多い。
- ・自分にはよいところがないと感じている児童が高学年に限らず数名いる。
- ・「みんなとなかよくできていますか。」「何事も最後までねばり強くがんばろうとしますか。」など、全体的に肯定的な回答が増えた。

### 2 保護者アンケートより

- ・児童の評価と同様、読書習慣の定着不足とゲームやインターネット使用時間の多さが課題である。
- ・家庭学習時間（1・2年30分、3・4年45分、5・6年60分以上）には、まだ課題があると感じている。保護者の肯定率（50%）と児童の肯定率（93%）との差が大きい。
- ・あいさつができていますと感じている保護者が多い。
- ・「早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣」の肯定率が上がった。学習意欲や体調面にも関わるため、児童への声掛けや家庭との連携を今後も続ける必要がある。
- ・教職員に関する項目、学校に関する項目については、1学期同様、好意的に捉えていただいている。

### 3 教員アンケートより

- ・児童の評価や保護者の評価と同様、学習・読書習慣の定着不足に課題を感じている。
- ・いじめのない温かい学校・学級づくりに努めることで、友達を大切にする心の育成が図られた。
- ・生徒指導に関する教職員間の情報共有は十分行うことができています。

### アンケート結果を受けて3学期以降の対策

- ① 3学期も宿題の量や質を工夫し、児童が家庭学習の達成感を得やすい内容にする。また、1人1台端末の利用を促進する。
- ② 引き続き学級活動でゲームやインターネットに費やす時間を考えさせ、生活習慣とのバランスをとるようにさせる。保護者に対しても、メディア利用時間と学習・読書習慣のバランスの大切さを啓発する。
- ③ あいさつの先取り活動を今後も徹底し、習慣付け、学校だけでなく、地域にも広げる。適切な声の大きさについても指導を継続する。
- ④ 今後も、保護者や地域の人材、自然を有効に生かして、地域と連携し、地域の良さを感じられる教育活動を展開する。
- ⑤ 体験活動や集会活動を通して、自分や友達のよさや個性を大切にする心を育てる。